

ちからの神さま — 池村 —

^{へいすけ}平助さんが生まれた時、両親は初めての男の子なのでたいそう喜びました。この子は強い男の子になってほしいと両親は大きな望みをかけて育てました。ところが平助さんは、病気がちで体が弱く両親に心配ばかりかけていました。稲穂が垂れさがり、今年も豊作の秋がやってきました。

平助さんの家では、ネコの手でもかりたい位取り入れに忙しい毎日を送っていました。

「平助、ちょっと手伝え。」

「ああ おまえはそんな手つきで、米はな、こうやって肩でかつぐもんや。」

平助さんがどんなに力を入れても米俵をもちあげることができません。

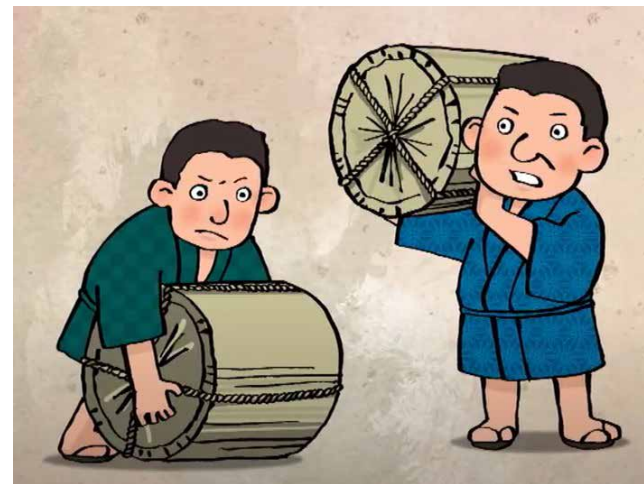
「やっぱりおまえは頼りにならんのだ。」

「もうええわ、あっちへ行っとれ。」

今日も又、両親に言われてしまいました。

「あっちへ行っとれ。あっちへ行っとれ……。」

平助さんはくやしくてしかたありません。両親から力なし、とのけものにされて男として扱ってくれないのが残念でした。なんとかして力持ちになりたい。平助さんはそう考えるようになりました。





家の人からものけものにされ、友達からも仲間はずれにされた平助さんの足は、自然に山の方へと向いました。

もみじは真赤になり、秋空なのに平助さんの心はいっこうに晴れません。

ふと村の池(真峯池)まで来た時、ポツンと池のまん中に大きな岩があるのを見つけました。

「大きな岩やのう、あんな大きな岩を持てたら米俵の^{こめだわら}一俵位、らくに持てるだろうな。」

とつぶやいていたのです。

おれも強くなりたい。うんと強くなりたい。今晚からあの岩に願掛けにこよう。平助さんは一大決心したのです。皆が眠りつくのを待って、こっそり布団の中から抜けだしました。

暗闇の山道をひたすら池へと走ったのです。いくら通り馴れた道でも平助さんは一人ぼっち。こわくないはずはありません。それでも強くなりたい一心で、岩にお祈りしたのです。

「どうぞ日本一、強い男にして下さい。」

平助さんは、どんなに雨が降っても、冬の風が強い日も、毎晩みんなに内緒で岩に願掛けに行ったのです。

すると、どうでしょう。だんだん力こぶもでてきて頼もしさが増してきたのです。

一番驚いたのは今まで、体が弱かったのを心配していた両親です。日に日に強くなり^{ごうりき}豪力青年になってきた息子の姿にあわてるばかりでした。



このうわさはたちまち村中に伝わり、村の人気者になっていったのです。
それでも平助さんはもっともっと強くなりたいと、願掛けに通うのです。

それを耳にした俊作さんしゅんさくと与吉さんよきち、力が弱いので、なんとか平助さん
にあやかろうと、これ又、村の人達にも内緒で、池まで願掛けに行ったの
でした。俊作さんは平助さんが帰って来たのを見計らって、

「平助さんのような強い男にして下さい。」

と、与吉さんは夜が明ける迄にこっそりと

「平助さんのような強い男にして下さい。」

と……すると不思議なことに、昨日迄は池のまん中に一つしかなかった岩が、
そのまん中に一つ、そして岸边に一つと三つの大きな岩が並んでいるのです。
まるで三人の願掛け岩のようです。

平助岩、俊作岩、与吉岩、三人はそれぞれ別々に願掛けに通ったのです。
三人はそれぞれ力の強い若者になっていきました。

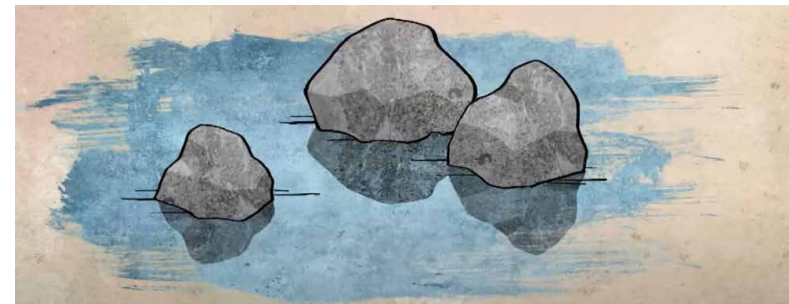
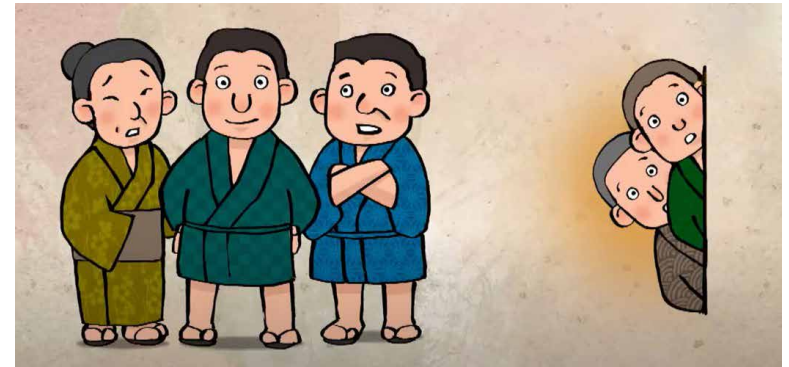
その頃お陰まいりと言ってお伊勢まいりがさかんに行なわれていました。

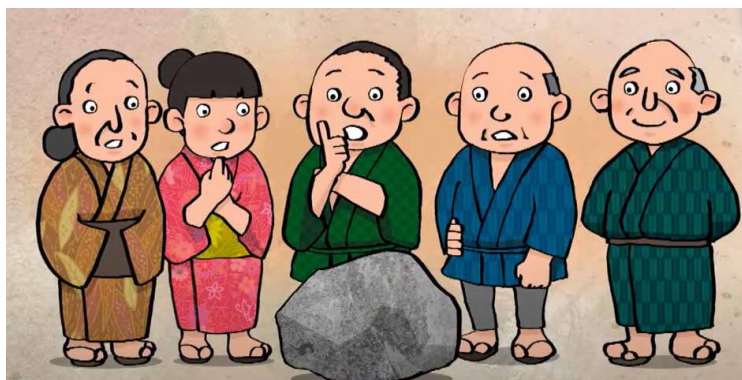
ある日、三人の若者もお陰まいりにでかけて、小俣お ぼたの湯田にさしかかると
大勢の人々が集まってさわいでいるのです。

「こんな大きな岩、誰もかつぐものはおらんやろ。」

「これがかついたら日本一や。」

と大きな岩を前にして言いあっているのです。





そこで三人の若者は、
「おいらもちょっとかついでみるか。」
と言って俊作さんが最初にかついだのです。

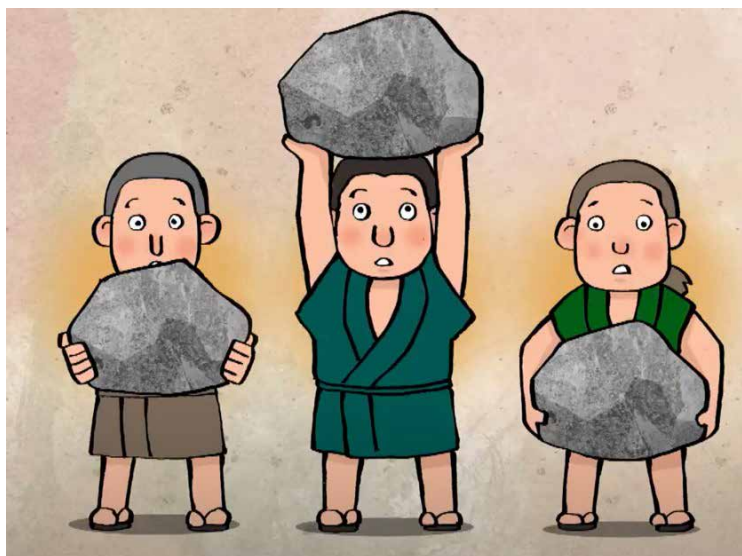
すると俊作さんは
「うん。これはだいぶ重いのう。」
と岩を腰まで持ち上げて言ったのです。

つぎに与吉さんが
「うん。これはちょっと重いのう。」
と岩を胸まで持ち上げて言ったのです。

最後に平助さんが
「うん。これは重いのう。」
と岩を両手で高く持ち上げたのです。

三人の若者を見ていた群衆はびっくりしてしまいました。
それからは、すもう大会、力比べがあると
「池村の三つ岩が来た。」
と人々はおそれをなしたのです。

いつしかこの真峯池の三つ岩を「力の神さま」と村人たちの間でささや
かれるようになり、願掛けがんかけに来る若者が絶えなかったということです。



キーワード：みんな、池村、真峯池

このお話は、昭和56年に発行された書籍『明和のみんな』（野田那智子さん編著）をもとにし、登場する人物・建物・その他の名称・読み方などは、原文をしようしています。